

『第41回 株式会社プレイボーイ・チャンネル・ジャパン番組審議会』

＝報告事項と審議内容＝

1. 開催日時：平成 29 年 9 月 22 日（金）14：00～15：30

2. 開催場所：東京都港区赤坂 4－8－10 TFC 6階会議室

3. 出席者：委員長 1 名、委員 3 名、放送事業者側 5 名

4. <報告事項>

- ・アダルト放送市場概況及びチャンネル状況の報告
- ・プレイボーイ チャンネル編成報告・VOD の報告/ランキング傾向報告

5. <議題>

①番組審議

審議対象番組 4 作品について各委員から次のような意見が出された。

★【ヘンリー塚本】哀切の白い乳房 ソレを我慢できない女の性

- ・終戦直後を時代背景にしたこの作品は、現在大きなターゲットになりつつある 50～60 代から、かなり好意的に受け止められるのではないかと？
- ・ノスタルジックな演出や女優の演技などのクオリティも高く、この監督の作品は今後面白い存在になっていくと思う。
- ・リアルポルノ設定。タブーに挑戦している。感情移入できるほどレベルが高い。

★【竜二（ヘンリー塚本監修）】女の人生は色とりどりのマン華鏡

- ・オムニバスの別なエピソードで、同一の俳優が別の役を演じていて分かりにくい。
- ・主婦の欲求不満、若い娘の成長物語など、オムニバスのエピソードでのテーマの統一性が感じられない。
- ・視聴者が見たいと思う部分をどんどん見せていくという演出姿勢には好感が持てた。

★老人を愛しすぎた妻たち 70 歳を越えるヴィンテージチ●ポがあまりにもヴィンヴィンで…

- ・時間と金のあるシニア世代向けの内容になっている。狙いはいい。
- ・老人の男優が演じているというだけで、その設定が生きていない。老人ならではのドラマが欲しい。

★水原さな 寝取られ動画を夫に見せつけて離婚を迫る女

- ・ヘンリー塚本作品と好対照であり、現代的な設定を工夫してあり興味深かった。
- ・作品内で同じような場面が続いたので、長く視聴してもらう為には、もう一工夫が必要

だと感じた。

- ・パソコン通信の表現はクレームの対象になる恐れもある。より注意を払った方が良い。

②編成全般についての意見

・アメリカのような数分間に 1 回行為を行うようなスポーツ的な作品は若い層には受けられると思うが、50代～60代の層にはストーリーやドラマの性のある日本的な作品の受けがいいと思う。日本的な作品には情緒的な部分がある。今現在、アダルトコンテンツは消耗品になりつつあり、インターネットの無修正などには勝てなくなっているが、50代～60代には情緒的な作品は需要があり、洋ピンチャンネルの中でも純日本的な作品を増やすなど色々と試行錯誤をする価値はあると思う。

- ・昨今、AV出演強要問題などで、アダルト業界の審査団体などに対する社会的圧力が強くなってきている。今後の傾向としてJDやJKなどの単語の使用、制服などの設定が減少してくるのではないか。海外では既に厳しい。

6. 《事業者側》

- ・今回の番組審議委員会での意見を参考に、よりターゲット層の嗜好にあった編成を目指していきたい。
- ・AV出演強要問題についてのアダルト放送業界の対応については、成人番組倫理委員会（成倫）で話し合われている。成倫として、近々この問題についての正式な意思表示を行う予定になっている。

以上